

小児インフルエンザ予防接種への補助を

西武公民館への歩道の設置を求めました

消費税は収入が少なくなればなるほど税率が高くなる不公平税制です。また、多くの中小企業が消費税を価格に転嫁できず、自腹を切って消費税を払っています。市内の業者さんから「増税されたら廃業しかない」との声を聞いています。苦境にあるお茶屋さんにもさらに打撃を与えます。私は市長に「消費税増税に反対する意思表示を」と求めました。

市長は「消費税増税は必要」と答弁しました。

これ以上、景気が冷え込んだら大変なことです。

力を合わせて消費税増税をやめさせましょう。日本共産党入間市議団は消費税増税反対の先頭に立って頑張ります。

小児インフルエンザ予防接種への補助で流行の防止を

小児へのインフルエンザ予防接種は任意のため年2回で5000円ほどの負担になります。予防接種が集団感染を抑え、学級閉鎖などを未然に防ぐ医学的裏付けがあ

ります。県内では滑川市が1000円の補助をしています。私は市長に予防接種への補助を求めました。

「市の財政的負担が大きい」との答弁。私は、予防することで負担が減らせると主張しました。

公民館利用者や子供たちの安全のために歩道の設置を

西武公民館へ続く道路の南側の歩道設置を2年前に続き求めました。「河川敷に張り出す形でいつとは言えないが努力する」との答弁がありました。



小出わたるの連絡先

どんなことでもお気軽にどうぞ

住所 〒358-0053 入間市仏子1170-4
電話 04(2932)7884
携帯 090(6542)3883

市議会つうしん

近況・活動・3月議会の報告

消費税増税をやめさせましょう
小児インフルエンザ予防接種へ補助を
西武公民館への道路に歩道の設置を

NO. 12

2012年4月



力を合わせて消費税増税をやめさせましょう

消費税増税は日本経済をどん底に突き落とします

常日ごろから大変お世話になっております。お元気でしょうか。

実は私は自転車に乗っていて転び肩とあばら骨を骨折。入院する羽目となりたくさんのみなさんにご迷惑をおかけしました。

その入院時に印象に残ったことがあります。それは看護師さんに「隣の市から引っ越してきたけど入間市は、子ども医療費が中学卒業まで無料じゃないんですね。冷たいなあ」と言われたことです。共産党市議団が主張してきた中学卒業までの子ども医療費無料化の実現のために頑張らねばと改めて思いました。これからは住民が自治体を選ぶ時代だと思います。子

どもや子育て世代に冷たい姿勢では入間市の未来は開けません。

「消費税が上がったらやっていけない」の声を聞くべき

さて、政府は、消費税を2014年度に8%、15年度に10%への増税を閣議決定しました。

1997年に3%から5%に消費税が上がった後、日本経済はどうなったでしょうか。それまで上向きだった景気が、9兆円の負担増で一気に冷え込み、国民の可処分所得は95万円も減少。今回の負担増はなんと約20兆円です。

日本経済は大変なことになってしまします。

生活苦に追い打ちかける負担増と制裁

3月定例市議会

介護保険料を18%も値上げ

3月議会では、日本共産党は3つの条例改正に反対し、その他の条例、道路認定、補正予算には賛成しました。

663円の値上げで月額4224円に

入間市介護保険条例の一部を改正する条例では、保険料改定が示され、保険料

基準額が現行の月額3561円から4224円に663円、18・3%もの値上げとなります。

後期高齢者医療の負担増と年金の支給が減額されるなかで、介護保険料の大幅値上げは、高齢者のくらしを壊しかねません。共産党は、滞納者への減免制度の拡充を求め、反対しました。

滞納者にサービス制限の制裁

入間市市営住宅条例の一部を改正する条例では、入居資格に「市税の滞納のない者」を加え、分割納付などで支払いの努力をしている人まで排除します。保証人についても現行は2人の「保証人」が、改正

では2人の「連帯保証人」とし、入居手続きのハードルを引き上げました。市民生活が厳しさを増すなか、市営住宅への入居を制限する条例改正は認められませんが、他会派により可決されました。

庶民への増税は認められない

市税条例の一部改正では、退職所得に対する10%控除を来年1月から廃止する内容が盛り込まれました。

共産党は「266兆円もの内部留保をため込んでいる大企業や大金持ちへの減税を続けながら、庶民にだけ増税を押しつけることは認められない」として反対しましたが、賛成多数で可決されました。

「リフォーム助成などで市民生活を応援する市政」を主張

24年度予算では、住宅耐震化工事の助成や全小中学校への教科指導員の配置、学校耐震化の前倒しなど、市民の要望が一部反映されましたが、「中3までの子ども医療費の無料化や住宅リフォーム助成制度の再開で市民のくらし最優先の市政」を求め、一般会計予算と国保・介護保険・後期高齢者医療・狭山台土地区画整理事業の4特別会計と水道事業会計予算に反対しました。

【新年度から実施される主な施策】

市役所本庁舎、消防庁舎、東町・高倉・黒須公民館など公共施設の耐震診断 要望の強かった全小中学校への教科指導員の配置 木造住宅耐震改修への補助制度の開始 空間放射線量測定器を3台追加購入し、市民への貸し出し開始などが実施されます。



中3までの医療費無料化を

「新日本婦人の会」など市民団体と日本共産党が制度の拡充を要請してきた子ども医療費無料制度は、4月から小3まで無料になりました。

近隣の自治体ではすでに中3まで無料になっていますが、入間市は具体的な見通しを全く示していません。

市民からは「なぜ入間市だけ遅れているのか」という声が寄せられています。基地交付金を活用して直ちに実施すべきです。

財政難を理由にしていますが、入間市は埼玉県下で4番目に借金が少なく、実施できない道理はありません。

共産党議員の一般質問

石田よしお議員

被災地支援、ハザードマップの改善

小出わたる議員

消費税増税反対を、予防接種補助を

吉沢かつら議員

市民税減免制度、黒須公民館建て替え

安道よし子議員

給食の放射性物質検査の実施を

日本共産党市議会報告

2012年4月

発行/日本共産党入間市議会議員団
連絡先/電話2932-4415 Fax2932-5632

石田よしお 2964-4048 070(5086)2075

安道よし子 2962-8082 090(4811)0553

吉沢かつら 2964-0208 090(3514)3077

小出わたる 2932-7884 090(6542)3883



すすむ学校耐震化

学校耐震化を前倒し実施

23年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ、6億7516万円を追加し、歳入歳出の総額を395億4507万円とするものです。

事業の主なものは、小中学校校舎の耐震化事業費の増額により、東金子小、新久小、黒須小、西武中の校舎耐震補強工事が前倒しで実施されます。

繰り返し求めてきた市民の要望が実現します。